

Let's 子育て!



子どもの目線でお散歩しましょう

幼い頃、棚の上には小人が住んでいると思い込んでいました。自分の目線より上は未知の世界。そこでは、子どもが知らない楽しいことが起こっているような気がして仕方なかったのです。

小学校の低学年になり少し知恵がつくと、棚の近くにイスを運んでよじ登り、未知の世界をのぞいてみました。ところが、棚の上には小人どころか、およそ子どもの興味を引きそうなものは何もなく、うっすらとホコリが積もっているだけ。ずいぶんガッカリした記憶があります。

9月に入り、陽射しが和らぐ日も増えました。お子さんと一緒に散歩に出掛けるには、ちょうどいい季節ですね。お子さんと手をつないでのんびり歩く。何気ないことですが、とてもステキな親子のスキンシップです。

さて、散歩の途中でお子さんの目線までしゃがん

でみてください。同じ風景でも、大人の目線で見ると印象が違って新鮮でしょう。それが、子どもの目に映っている世界なのです。

すれ違う犬が案外大きく見えてビックリするかもしれませんし、道端の草花に近くなる分、色彩をより鮮やかに感じることもあるでしょう。

大人同士でも、「**相手を理解するには同じ目線で**」というくらいですから、子どもと目線を同じにすれば、よりスキンシップが深まるかもしれません。もしかしたら、草むらに住んでいる小人に会えたりして（笑）。

